新たな難視聴地域となる個別受信設備の改修経費を助成

2011年（平成23年）7月24日にアナログテレビ放送が終了します

地理的、地形的な条件により地上デジタルテレビ放送が良好に受信できない地域で、難視聴を解消することを目的とするための個別受信設備の改修等を受信世帯が行う場合に、その経費の一部を助成してくれます。該当すると思われる地域の方は、仁淀川町役場企画課まで、お問い合わせください。

高性能等アンテナ対策事業

事業内容

標準性能を超えるアンテナなどを用いたり、受信点を移設などすることにより、地上アナログテレビ放送の受信設備を地上デジタルテレビ放送対応に改修する費用を助成する事業です。

助成対象者

新たな難視聴地域となる個別受信設備での受信世帯となります。

※共同受信施設組合に加入していない世帯

助成額：助成額は次のとおりとします。

助成対象経費	助　成　額
①３万５千円以下のもの	本助成事業の対象外
②３万５千円を超え１０万５千円以下のもの	助成対象経費から３万５千円を差し引いた額
③１０万５千円を超えるもの	助成対象経費の３分の２に相当する額

※助成額の1,000円未満の端数については、これを切り捨てた額とします

助成事業実施者：総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）
デジサポ高知　☎０８８－８１３－００００

問い合わせ：仁淀川町役場企画課　☎３５－１０８２

2010 国勢調査 10月1日 国勢調査を実施します

十月一日、日本に住んでいるすべての人（外国人を含む）を対象に、国勢調査を実施します。

国勢調査は、人口や世帯の実態を明らかにするため、統計法に基づき五年ごとに行われる最も重要な統計調査で、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。

九月下旬から、調査員が世帯を訪問して調査票を配布しますので、ご回答をよろしくお願いします。

今年の国勢調査は

平成二十二年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。

提出方法の変更

記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をしてから調査員に渡してください（調査員は原則調査票の確認を行いません）。

今回の調査から、同封の「国勢調査郵送提出用封筒」により、郵送（切手不用）で提出することもできるようになりました。

問い合わせ

仁淀川町役場企画課　☎３５・１０８２
池川総合支所住民課　☎３４・２１１１
仁淀総合支所住民課　☎３２・１１１１

国勢調査については、こちらでもご覧いただけます。

国勢調査e-ガイド　検索

http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm

大西小校友会総会のご案内

第二十九回大西小校友会総会を左記の通り開催します。旧校舎対岸の国道整備が進み、景色もかなり変わりましたが、学びや跡地で童心に帰って語らいませんか。旧友を誘って多数ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

日時
8月16日(月)正午から

場所
大西多目的集会所

参加費
男性　三千五百円
女性　二千五百円

申込期日
8月11日（水）

申し込み先・問い合わせ
会長　大西　文雄
☎0889・34・2504
副会長　大原　喜幸
☎0889・24・7759

※校区内にお住まいの方は、各区長さんまでお申し込みください。

交通安全協会からお知らせ

佐川警察署・交通安全協会佐川支部　☎２２－０１１０
※交通安全協会は皆さまの会費で運営されています。ご協力よろしくお願いします。

佐川支部定期総会・支部表彰式

５月31日に 越知町「三秀」で、平成22年度交通安全協会佐川支部定期総会が行われ、その中で63人の支部優良運転者の方が表彰されました。

仁淀川町からも15人の方が表彰されました。おめでとうございます。

～来年度も募集します～

来年度表彰の優良運転者の方を募集中です。自己推薦でも結構ですので、佐川署内協会窓口で申請をお願いします。

県民交通安全の日

毎月20日（土・日・祝日の場合は翌日）の「県民交通安全の日」には、ボランティアや役場職員の方が、早朝街頭指導をしてくださっています。

町民一人一人が、交通ルールを守り、正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故のない人に優しい安全な交通社会の実現を、町民総ぐるみで目指しましょう。

事業主の皆さまへ

～従業員募集にハローワークのご利用を～

ハローワークでは、オンラインシステムにより、全国に求人情報の提供を行っています。

公共機関として行うサービスですので、利用に関しての費用は一切かかりません。

従業員の募集をお考えの際は、ぜひハローワークにお電話ください。専門担当者がお伺いの上、求人申し込みなどの相談に応じます。

また、新規中・高等学校卒業者の求人受理も六月二十日より始まりました。

地域の活性化のためにも、将来の地域社会の担い手である新規学校卒業者の採用についてぜひご検討をお願いいたします。

問い合わせ
ハローワーク須崎
（公共職業安定所）
〒785－0012
須崎市西糺町4－3
☎0889・42・2566

ご寄付のお礼

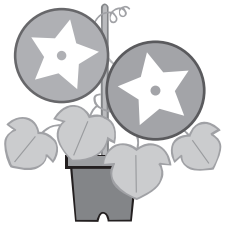
◇一般寄付金
五藤　鯉喜様(別枝本村)
長山　孝雄様(狩山日浦)

ご芳志をありがたくお受けし、町行政に有意義に活用させていただきます。

◇広報寄付金
掛水　宗美様(城陽市)
西田　守友様(高知市)
山口　均様(茨木市)
伊藤加寿子様(高知市)
種田　初子様(高知市)
片岡　義友様(東久留米市)
西森　準典様(高槻市)
坪内　篤様(高知市)

ご芳志をありがたくお受けし、広報発行に活用させていただきます。

ありがとうございました。
仁淀川町役場



我が町の教育を考える〈その3〉

小規模校ならではの良さもありますが、一方で課題もあります。

□小規模校の長所と短所

確かに、人数が少なければ、それだけ１人に関われる時間が増え、指導や支援も行き届く道理です。それに、何をするにも、いわゆる“小回りがきく”のも小規模校の利点と言えるでしょう。

一方、不利な点も少なくありません。中でも、先にも述べましたが、多人数の中で揉まれながら切磋琢磨（せっさたくま）する、そこから逞しさや社会性を身につけ、集団の一員としての自覚を高めるといった点で、どうしても弱い面が指摘されるところです。

他にも、小規模校をめぐって一般的に言われる長短所は、主に次のような諸点です。

複式学級での授業風景（名野川小学校５・６年生）

長　　所	短　　所
・先生と子ども、また、子ども同士の関係が親密である。	・友達との人間関係がいつも同じで、序列化する。
・家庭的な雰囲気の中で学習や生活ができる。	・クラブ活動や、音楽・体育などの集団活動に支障がある。
・一人一人の活動の場が増え、幅広い経験もできる。	・集団の中での協調性や適応力などが身につきにくい。

□学校の果たす役割と機能

少人数のメリットをどう生かすか、学校ではさまざまな工夫を重ねながら、日々の活動を進めています。しかし、そこにはおのずと限度も見えてきます。特に、一定の人数で行う集団活動に支障が起きてくるとなれば、ことは深刻です。

言うまでもなく、学校の果たす役割は単に知識や技能を教えるだけでなく、より良い生き方を学ぶ手助けをしたり、努力することの大切さを体験させたり、人間関係を調整する力を培うなど、豊かな人づくりを目指して多岐にわたっています。

つまり、これからの社会で、しっかりと生きる力を身につけさせることが、学校の大事な役目と言わなければなりません。

ですから、仮に子どもが一人になっても、学校そのものは存続が可能ですが、果たしてそれが子どもの将来にプラスになるのか、という視点と同時に学校としての機能が問われることになりそうです。

□学級・学校の適正規模

より多くの教育成果を生み出すには、適度な学級・学校規模を有していることが効果的だと言われます。それは、何よりも集団の中での相互作用が、子どもの成長にあずかって大きいからだと思います。

県内の各所で学校統合が進む中で、平成 17 年3月に県教育委員会に設置された小中学校適正規模検討委員会が、「本県における小中学校の適正規模」について

①教育効果の観点から、学級規模は20人程度かそれ以上が望ましい

②学校経営上の観点から、学校規模は最低小学校12学級程度、中学校６学級程度が必要である（抜粋）

と提言しています。

これは、あくまでも望ましい姿であって、参考資料です。実際には、市町村ごとに実態は異なり、本町でもここまで述べてきたように、適正規模とはほど遠い現況となっています。

ALT8月に帰国

仁淀川町教育委員会には、二人のアメリカ人の英語指導助手（ＡＬＴ）が在籍しています。

在住四年目のモニカ・ロイドさんと、二年目のザック・スタンさんです。この両人は今年の八月、母国のアメリカに帰ることになりました。そこで、仕事の内容や仁淀川町の子どもに対する感想などを聞きました。

ＡＬＴの仕事は、授業の助手や実際に自ら授業をすることです。中学校では、日本人英語教師の助手として活躍しています。授業前に打ち合わせを行い、必要な資料や活動・ゲームなどの準備をします。授業中は、正しい発音で単語や英文を読み聞かせたり、生徒が書いた英文などを添削しています。

一方、小学校では、ＡＬＴ自らが授業を行います。小学校の英語の授業の目的は、話したり聞いたりする能力を高めることです。したがって、授業は、低学年から高学年までの子どもの発達に合わせたゲームや、体を動かす活動が中心です。授業中、子どもたちはいつも笑顔で楽しそうです。

ザックさん（写真左）とモニカさん

二人は「仁淀川町の子どもは、素直な心を持っており、積極的に授業に参加している。また、外国語や外国に興味を持っている子どもが多い」と語ってくれました。

秋葉まつりや地域の行事に参加したり、生徒のスポーツ大会に顔を見せるなど、地域と深く結びついてくれたお二人でした。帰国してからの活躍を、仁淀川町から応援したいですね。

子どもの読書活動支援員便り

☆お知らせ

①移動図書館（巡回バス）が来町します

高知県立図書館の様々な種類の本をたくさん乗せたバスがやってきます。

一般の方の参加も大歓迎ですので、ぜひお越しください。

7月29日（木）

仁淀教育事務所　10時10分～11時30分

（問い合わせ　☎３２－１０４１）

中央公民館　13時～15時

（問い合わせ　☎３５－００１９）

※今回のみ通常の滞在時間と異なります。ご注意ください。

②中央公民館３階図書室ではさまざまな展示を行っています

・新書コーナー、「薬を知ろう！」コーナー
７月30日（金）まで

・利用者リクエストコーナー
毎月入れ替えをしています

「薬を知ろう！」コーナー

・夏休み企画「野外遊び・工作の本」コーナー
８月31日（火）まで

③７月21日（水）～８月20日（金）は雑誌愛読月間です

④読書支援ボランティアを募集しています

余暇を使って本に関する活動をしませんか。子どもの読書活動支援員と一緒に町内の小中学校、保育所（園）に出向き、子どもたちに読み聞かせをしたり、新しい図書の受付や各地区に残る図書の整理、秋の読書イベント補助などの活動を行っていただく読書支援ボランティアを募集しています。

講師による読み聞かせの研修会も計画しています。興味のある方はぜひお問い合わせください。

仁淀川町教育委員会

☎３５－００１９（谷平・井上）